

平成25年行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	食品健康影響評価技術の研究に必要な経費		担当部局	食品安全委員会事務局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度		担当課室	総務課		山本麻里 総務課長	
会計区分	一般会計		政策・施策名	67 食品健康影響評価技術研究の推進 (政策15-施策)			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	食品安全基本法(平成15年法律第48号) 第23条第1項第6号及び第7号		関係する計画、 通知等	「食品安全委員会運営計画」 「食品の安全性の確保のための調査・研究の推進の方向性」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学を基本とする食品健康影響評価(リスク評価)の推進に資する研究を実施し、リスク評価ガイドライン・評価基準の策定等に寄与することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「研究領域設定型」の競争的研究資金制度※により研究事業を実施。食品安全委員会において決定した研究領域(化学物質系、生物系、新食品等)について、研究課題を公募・審査・採択し、原則3年以内(24年度から原則2年以内)の研究期間で採択研究課題に対し委託費として競争的研究資金を交付。研究成果については、ホームページで公表するとともに、リスク評価方法の開発やリスク評価のための基礎データとして活用している。 ※競争的研究資金とは、資金配分主体が、広く研究開発課題等を募り、提案された課題の中から、専門家を含む複数の者による、科学的・技術的な観点を中心とした評価に基づいて実施すべき課題を採択し、研究者等に配分する研究開発資金。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	343	242	211	190	199
		補正予算	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0		
	計	343	242	211	190		
	執行額	338	239	208			
執行率(%)	99%	99%	99%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	今後概ね5年間に食品安全委員会において推進することが必要な調査・研究について、目標及びその達成に向けた方策(道筋)を内容とする「食品の安全性の確保のための調査研究の推進の方向性」(ロードマップ)に基づき、実施した研究成果を取りまとめた件数	成果実績		課題	7	5	平成25年8月頃 取りまとめ予定
		達成度	%	100	100		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	食品健康影響評価技術研究成果報告書の食品安全委員会ホームページ掲載件数(※前年度終了課題のホームページ掲載件数を記載)	活動実績 (当初見込み)		件 [累計]	11 (11)	7 (7)	5 (5)
		算出根拠	平成24年度実施研究委託費(確定額207,495,086円)÷平成24年度実施研究課題数(19課題)				
単位当たり コスト	10,920,794(円/課題)						
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	食品健康影響評価技術研究委員 手当	0.5	0	予算組み替えのため			
	食品健康影響評価技術研究謝金	0.1	0	予算組み替えのため			
	食品健康影響評価技術研究業務 旅費	0.2	0	予算組み替えのため			
	食品健康影響評価技術研究委員 等旅費	0.5	0	予算組み替えのため			
	食品健康影響評価技術研究委託 費	189	199	「新しい日本のための優先課題推進枠」27			
	計	190	199				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
必要投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	我が国の食品の安全性の確保を図ることが必要であるため、国が行うべきリスク評価手法の確立や食品リスク評価技術の高度化に係る研究について、本事業で取組んでいる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	当事業は、競争的研究資金制度を用いた提案公募事業であり、「調査・研究企画調整会議」及び「食品安全委員会」が審議・決定した当該委託費の募集分野、配分等の基本的な考え方にに基づき募集が行われ、応募された事業の審査のみならず、当該応募者が実施可能であるか、又、リスク評価に資する研究かについても審査を行った上で採択した事業である。委託費は、食品健康影響評価技術研究委託要綱に基づき受託者に配分を行った。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	適切なリスク評価を行うためには、必要な評価技術の開発・検討が必要であるが、当委員会は、自らの研究機関施設を整備するのではなく、国内の既存の研究機関と連携を強化しつつ、「食品の安全性の確保のための調査研究の推進の方向性」に基づき、必要な研究を委託して適切に実施している。成果物である研究成果報告書については、そのままガイドライン等として活用している他にリスク評価の基礎データとして活用している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	研究課題の採択にあたっては、リスク管理機関(厚生労働省、農林水産省)のリスク管理に係る研究と重複しないよう、リスク管理機関と情報共有を行っている。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	平成24年度の行政事業レビューにおいて、「引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。」との指摘を踏まえ、研究領域を設定した上で研究課題を公募し、調査・研究企画調整会議において、リスク評価への有用性の観点から新規課題の採択を行った。研究の進捗状況調査の実施などにより、研究の進行管理を行うとともに、各経費の執行について、実地指導による使途、使用時期、管理状況等の把握を行い、適正化に努めている。研究の評価については、1年ごとに当該年度の成果に基づき中間評価を行うとともに、研究終了後は事後評価を行っている。研究成果については、HP等を通じ、わかりやすく情報を開示、一般向けの発表会の開催などを実施している。事後評価については、食品健康影響評価への貢献等の研究の有用性を評価基準として実施しているところである。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、経費の適正な執行、研究の成果の有効活用に留意すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	「食品の安全性の確保のための調査・研究の推進の方向性」に基づき、リスク評価への有用性の観点から新規採択を行っており、研究の進捗状況調査の実施などにより、研究の進行管理を行うとともに、各経費の執行について、実地指導による使途、使用時期、管理状況等の把握を行い、適正化に努め、予算の効率的執行を行っている。26年度概算要求においては、事業計画の見直しにより削減した。					
備考						
食品安全委員会ホームページ「終了課題における食品影響評価技術研究報告書一覧(終了年度別)」 http://www.fsc.go.jp/senmon/gijyutu/gijyutu_ichiran17_23.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0142	平成23年	0142	平成24年	0143

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣府食品安全委員会

208百万円

- ・研究領域の決定、研究課題の公募
- ・研究課題の決定(事前評価)、研究の継続の要否の決定(中間評価)、研究の評価結果の決定(事後評価)
- ・結果の通知・公表
- ・研究結果の活用(リスク評価に関するガイドライン・評価基準の策定等)

研究業務旅費・謝金等
1百万円

実地指導、研究運営部会開催等に係る旅費、謝金等

【随意契約】

A. 富山大学

6百万円

遺伝子発現モニターマウスを用いた発達期脳に対する化学物質暴露影響評価法の開発

【随意契約】

B. 中部大学

9百万円

フタル酸エステルの生殖・次世代影響の健康リスク評価に関する研究

【随意契約】

B1. 名古屋大学

1百万円

【随意契約】

B2. 名古屋市立大学

2百万円

【随意契約】

C. 佐藤薫(国立医薬品食品衛生研究所)

19百万円

食品中の化学物質への胎生～新生期暴露が情緒社会性におよぼす影響評価手法の開発

【随意契約】

C1. 麻布大学

2百万円

【随意契約】

C2. 北海道大学

3百万円

【随意契約】

C3. 東京慈恵会医科大学

3百万円

【随意契約】

C4. 山梨大学

3百万円

【随意契約】

D. 大阪大学

11百万円

食品中ナノマテリアルの腸管吸収及び体内動態の特性を利用したリスク評価手法の開発

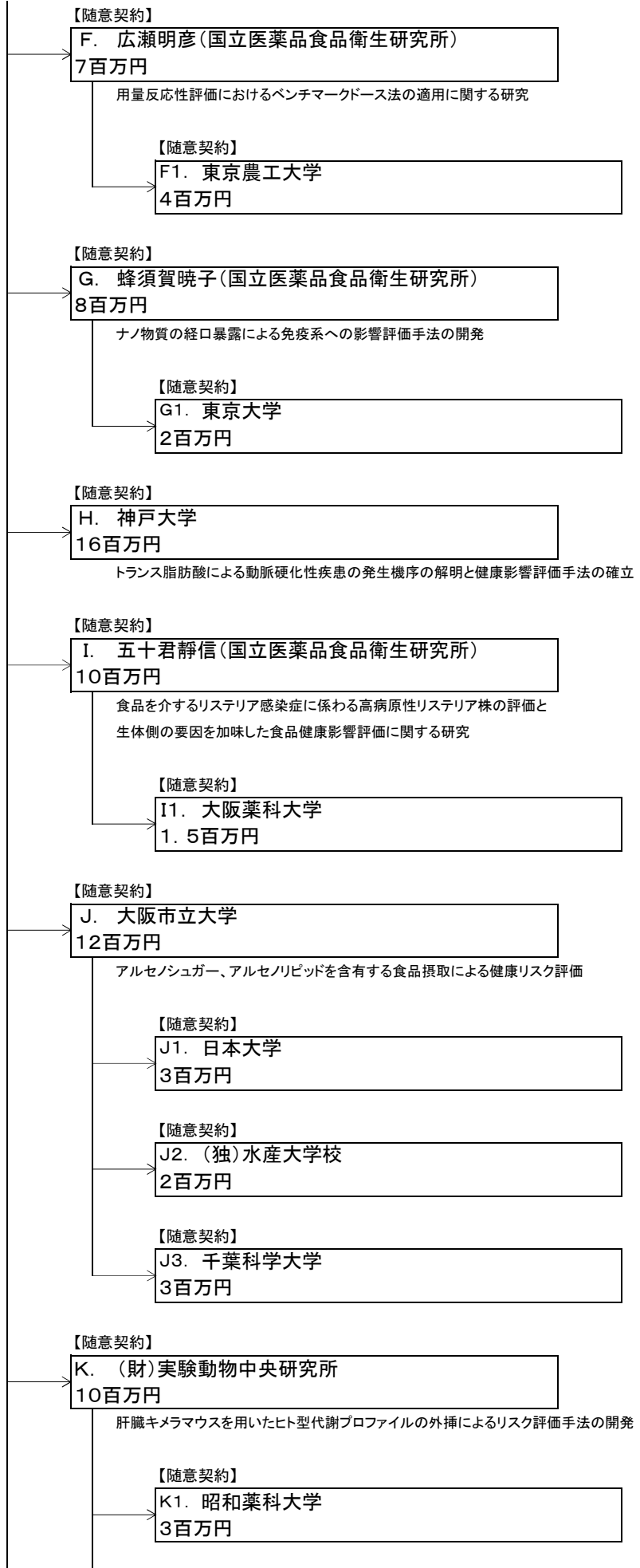
【随意契約】

E. 小川久美子(国立医薬品食品衛生研究所)

17百万円

グリンドール脂肪酸エステル及び3-MCPD脂肪酸エステルの安全性評価に関する研究

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



【随意契約】

K2. 東海大学
0.4百万円

【随意契約】

L. 西川秋佳(国立医薬品食品衛生研究所)
8百万円

ラットにおける遺伝毒性・反復投与毒性併合試験法の開発

【随意契約】

M. 吉田緑(国立医薬品食品衛生研究所)
5百万円

日本における農薬等の急性参照用量設定のためのガイダンス作成に関する研究

【随意契約】

M1. 麻布大学
1.5百万円

【随意契約】

M2. 信州大学
1.5百万円

【随意契約】

N. 神戸大学
5百万円

食品中のアルミニウムの神経発達系への影響など、新生児発育に対するリスク評価研究

【随意契約】

N1. 大阪大学
0.7百万円

【随意契約】

N2. 藤田保健衛生大学
1百万円

【随意契約】

O. 慶應義塾大学
4百万円

胎児移行性における種差を反映したヒト胎児毒性リスク評価手法の開発

【随意契約】

P. (独)国立環境研究所
16百万円

酸化ストレスを誘導する遺伝毒性物質の低用量における量反応関係の解析

【随意契約】

P1. 九州大学
5百万円

【随意契約】

P2. 個人
3百万円

【随意契約】

Q. 山崎浩(国立感染症研究所)
14百万円

食肉の寄生虫汚染の実態調査と疫学情報に基づくリスク評価手法の開発

【随意契約】

Q1. 個人
4百万円

【随意契約】

Q2. 個人
2百万円

【随意契約】

Q3. 個人
2百万円

【随意契約】

R. 野田衛(国立医薬品食品衛生研究所)
15百万円

食品のウイルス汚染のリスク評価のための遺伝子検査法の開発と応用に関する研究

【随意契約】

R1. 個人
1.5百万円

【随意契約】

R2. 個人
1.5百万円

【随意契約】

S. 香川大学
15百万円

ハイリスクグループにおける評価に関する研究—不確実係数の妥当性について

【随意契約】

S1. 個人
4百万円

【随意契約】

S2. 名古屋市立大学
5百万円

A.富山大学			B.中部大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	5	消耗品費	試験研究用品等	4
旅費	研究員旅費	0.0	人件費	研究補助員の人件費	0.6
その他	諸経費	0.0	旅費	研究員旅費	0.0
間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	1	その他	外注費(英文校閲、アミノ酸分析)	0.5
			再委託費	分担研究者に係る研究費(名古屋大学)	1
			再委託費	分担研究者に係る研究費(名古屋市立大学)	2
			間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	2
計		6	計		9
B1.名古屋大学			B2.名古屋市立大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	0.6	消耗品費	試験研究用品等	0.6
人件費	技術補佐員の人件費	0.1	人件費	補助員の人件費	0.5
その他	諸経費(動物飼育費)	0.1	旅費	研究員旅費	0.1
間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.2	その他	外注費(英文校正料)、諸経費(投稿料、参加費)	0.1
			間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.2
計		1	計		2
C.佐藤薫(国立医薬品食品衛生研究所)			C1.麻布大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	3	消耗品費	試験研究用品等	2
人件費	研究員の人件費	5	その他	通信運搬費	0.1
その他	外注費、会議費、諸経費	0.1	間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.2
再委託費	分担研究者に係る研究費(麻布大学)	2			
再委託費	分担研究者に係る研究費(北海道大学)	3			
再委託費	分担研究者に係る研究費(東京慈恵会医科大学)	3			
再委託費	分担研究者に係る研究費(山梨大学)	3			
計		19	計		2
C2.北海道大学			C3.東京慈恵会医科大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	2	消耗品費	試験研究用品等	2
間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	1	その他	外注費、諸経費	1
			間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.3
計		3	計		3

C4.山梨大学			D.大阪大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	2	消耗品費	試験研究用品等	4
旅費	研究員旅費	0.2	その他	外注費	4
間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	1	間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	3
計		3	計		11
E.小川久美子(国立医薬品食品衛生研究所)			F.広瀬明彦(国立医薬品食品衛生研究所)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	4	人件費	研究員の人件費	1
旅費	研究員旅費	1	旅費	研究員旅費	1
その他	外注費、諸経費	12	その他	外注費、諸経費	1
			再委託費	分担研究者に係る研究費(東京農工大学)	4
計		17	計		7
F1.東京農工大学			G.蜂須賀暁子(国立医薬品食品衛生研究所)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	3	消耗品費	試験研究用品等	2
旅費	研究員旅費	0.0	人件費	WDB(株)木村恵美ほか	4
その他	外注費、諸経費	0.4	旅費	研究員旅費	0.0
間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	1	その他	通信運搬費、諸経費	0.0
			再委託費	分担研究者に係る研究費(東京大学)	2
計		4	計		8
G1.東京大学			H.神戸大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	2	設備備品費	チューブスライサ	0.3
間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.5	消耗品費	試験研究用品等	4
			人件費	事務補佐員×1、技術補佐員×1、技術補佐員×1の人件費	7
			その他	外注費(動物実験施設利用料、解析ほか)	2
			間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	4
計		2	計		16

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

I.五十君静信(国立医薬品食品衛生研究所)			I1.大阪薬科大学		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	5	消耗品費	試験研究用品等	1.4
謝金	研究補助者謝金	1	間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.1
旅費	研究員旅費	0.3			
その他	外注費、通信運搬費、諸経費	1			
再委託費	分担研究者に係る研究費(大阪薬科大学)	2			
計		10	計		1.5
J.大阪市立大学			J1.日本大学		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	3	消耗品費	試験研究用品等	2
旅費	研究員旅費	0.2	人件費	研究員人件費	0.1
その他	諸経費	0.0	旅費	研究員旅費	0.1
再委託費	分担研究者に係る研究費(日本大学)	3	間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.3
再委託費	分担研究者に係る研究費((独)水産大学校)	2			
再委託費	分担研究者に係る研究費(千葉科学大学)	3			
間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.5			
計		12	計		3
J2.(独)水産大学校			J3.千葉科学大学		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	2	消耗品費	試験研究用品等	2
人件費	研究員人件費	0.2	旅費	研究員旅費	0.2
旅費	研究員旅費	0.0	その他	諸経費	0.0
その他	諸経費	0.0	間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.3
間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.3			
計		2	計		3
K.(財)実験動物中央研究所			K1.昭和薬科大学		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	4	消耗品費	試験研究用品等	2
その他	外注費、通信運搬費	1	間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	1
再委託費	分担研究者に係る研究費(昭和薬科大学)	3			
再委託費	分担研究者に係る研究費(東海大学)	0.4			
間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	2			
計		10	計		3

K2.東海大学			L.西川秋佳(国立医薬品食品衛生研究所)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	0.3	消耗品費	試験研究用品等	3
間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.1	旅費	研究員旅費	1
			その他	外注費、諸経費	4
計		0.4	計		8
M.吉田緑(国立医薬品食品衛生研究所)			M1.麻布大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	0.3	消耗品費	試験研究用品等	0.3
旅費	研究員旅費	1	謝金	平山由紀子6月分ほか	0.4
その他	外注費、会議費、通信運搬費、諸経費	1	旅費	研究員旅費	0.2
再委託費	分担研究者に係る研究費(麻布大学)	2	その他	外注費((財)食品薬品安全センター秦野研究所)、諸経費(代田真理子 学会参加費ほか)	0.5
再委託費	分担研究者に係る研究費(信州大学)	2	間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.1
計		5	計		1.5
M2.信州大学			N.神戸大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	1	消耗品費	試験研究用品等	2
旅費	松本清司 学会出席ほか	0.1	その他	外注費(動物実験施設利用料)	0.0
その他	諸経費(動物飼育代ほか)	0.1	再委託費	分担研究者に係る研究費(大阪大学)	1
間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.3	再委託費	分担研究者に係る研究費(藤田保健衛生大学)	1
			間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	1
計		1.5	計		5
N1.大阪大学			N2.藤田保健衛生大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	0.5	消耗品費	試験研究用品等	1
間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.2	間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	0.3
計		0.7	計		1.3

O.慶應義塾大学			P.(独)国立環境研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	3	消耗品費	試験研究用品等	2
旅費	研究員旅費	0.2	人件費	高度技能専門員×1、アシスタントスタッフ×1	2
その他	諸経費	0.1	旅費	研究打合せ、学会参加	0.2
間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	1	その他	外注費(病理組織標本作成ほか)、会議費(会議室使用料ほか)、諸経費(学会参加費)	1
			再委託費	分担研究者に係る研究費(九州大学)	5
			再委託費	分担研究者に係る研究費(能美健彦(国立医薬品食品衛生研究所))	3
			間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	2
			消費税相当額	人件費、学会参加分	0.1
計		4	計		16
P1.九州大学			P2.個人		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	3	消耗品費	試験研究用品等	2
人件費		1	旅費		0.1
旅費		0.1	その他	外注費、諸経費	1
その他	諸経費、消費税相当額	0.1			
間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	1			
計		5	計		3
Q.山崎浩(国立感染症研究所)			Q1.個人		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
設備備品費	薬用保冷库、リアルタイムPCR	2	消耗品費	試験研究用品等	3
消耗品費	試験研究用品等	2	謝金		0.3
謝金		1	その他	外注費、諸経費	0.2
旅費		0.2			
その他	外注費、通信運搬費、諸経費諸経費	1			
再委託費	分担研究者に係る研究費(永宗喜三郎(国立医薬品食品衛生研究所))	4			
再委託費	分担研究者に係る研究費(杉山広(国立医薬品食品衛生研究所))	2			
再委託費	分担研究者に係る研究費(八木田健司(国立医薬品食品衛生研究所))	2			
計		14	計		4
Q2.個人			Q3.個人		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	2	消耗品費	試験研究用品等	2
謝金		0.1	その他	通信運搬費、諸経費	0.0
旅費		0.1			
その他	外注費、諸経費	0.1			
計		2	計		2

R.野田衛(国立医薬品食品衛生研究所)			R1.個人		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	8	消耗品費	試験研究用品等	1.5
人件費		3	その他	諸経費	0.0
謝金		0.2			
旅費		1			
その他	会議費、通信運搬費、諸経費	0.1			
再委託費	分担研究者に係る研究費(石井孝司(国立感染症研究所))	2			
再委託費	分担研究者に係る研究費(李天成(国立感染症研究所))	2			
計		15	計		1.5
R2.個人			S.香川大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	試験研究用品等	1.4	消耗品費	試験研究用品等	3
旅費		0.1	旅費	研究打合せ、学会出席ほか	0.1
その他	諸経費	0.0	その他	外注費(血液検査料)	1
			再委託費	分担研究者に係る研究費(豊田武士(国立医薬品食品衛生研究所))	4
			再委託費	分担研究者に係る研究費(名古屋市立大学)	5
			間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	1
計		1.5	計		15
S1.個人			S2.名古屋市立大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費		3	消耗品費	試験研究用品等	3
旅費		0.1	謝金	実験補助	0.4
その他	外注費(血液検査料)、通信運搬費(検体輸送費ほか)、諸経費(学科参加費ほか)	1	旅費	研究打合せ、学会等	0.1
			その他	外注費(血液検査料)	1
			間接経費	研究機関が研究遂行に関連して間接的に必要とする経費	1
計		4	計		5

支出先上位10者リスト

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	佐藤薫(国立医薬品食品衛生研究所)	食品中化学物質への胎生～新生期暴露が情緒社会性におよぼす影響評価手法の開発	19	随意契約	-
2	小川久美子(国立医薬品食品衛生研究所)	グリシドール脂肪酸エステルおよび3-MCPD脂肪酸エステルの安全性評価に関する研究	17	随意契約	-
3	神戸大学	トランス脂肪酸による動脈硬化性疾患の発生機序の解明と健康影響評価手法の確立	16	随意契約	-
4	(独)国立環境研究所	酸化ストレスを誘導する遺伝毒性物質の低用量における量反応関係の解析	16	随意契約	-
5	香川大学	ハイリスクグループにおける評価に関する研究—不確実係数の妥当性について	15	随意契約	-
6	野田衛(国立医薬品食品衛生研究所)	食品のウイルス汚染のリスク評価のための遺伝子検査法の開発と応用に関する研究	15	随意契約	-
7	山崎浩(国立感染症研究所)	食肉の寄生虫汚染の実態調査と疫学情報に基づくリスク評価手法の開発	14	随意契約	-
8	大阪市立大学	アルセノシュガー、アルセノリビッドを含有する食品摂取による健康リスク評価	12	随意契約	-
9	大阪大学	食品中ナノマテリアルの腸管吸収及び体内動態の特性を利用したリスク評価手法の開発	11	随意契約	-
10	(財)実験動物中央研究所	肝臓キメラマウスを用いたヒト型代謝プロファイルの外挿によるリスク評価手法の開発	10	随意契約	-